



The Weekly Report of SUNAGAWA RC

砂川ロータリークラブ会報

■ 本日は2月18日(水) 第2631回 例会 ■

ゲスト卓話 広報会報委員会担当
 テーマ「企業データベースを利用した経営戦略サポート」
 (株)東京商工リサーチ旭川支店 上川・空知・オホーツクエリア地区
 統括マネージャー 下 鳥 建 様

※RCレート 2月1日より 1\$ 154円

■ 次週の予定 ■

2月25日(水) ゲスト卓話 直前担当
 第2632回 砂川市教育委員会社会教育課
 生涯学習アドバイザー 小田島 数 幸 様
 テーマ「4月14日、砂川学園が開校します！」
 3月4日(水) 四大祝福 会員卓話 会員担当
 第2633回 「阿部軌道について」 阿部憲道会員

第2630回例会記録 2026年(令和8年)2月4日(水) 雪 「国歌斉唱」「4つのテスト」唱和「我らの生業」斉唱

- ・ゲスト紹介 本日はいらっしゃいません。
- ・ビジター紹介 本日はいらっしゃいません。

会長報告

会長 松原 重俊

- ①国際ロータリー第2510地区2025-26G事務所より、2026-2027年度会長エレクト研修セミナー(PETS)及び地区研修・協議会開催のご案内が届いております。
- ②国際ロータリー第2510地区2025-26G事務所より、地区新会員研修委員会より「新会員研修セミナー開催のご案内」が届いております。
- ③国際ロータリー第2510地区2025-26G事務所より、ガバナー月信2月号が届いております。

幹事報告

幹事 西川 公平

- ①滝川RCより2月の例会案内が届いております。
- ②芦別RCより1月会報、2月例会案内が届いております。
- ③砂川冬まつりワカサギ釣りの出欠を回覧しております。お手伝いにご参加できます方は、保険の関係上必ず氏名をご記入ください。
- ④例会終了後、新会員研修セミナーのご説明いたしますので入会5年未満の方はお残りください。
- ⑤本日例会終了後、理事役員会を開催します。関係者の方はお残りください。

委員会報告

本日はございません。

四大祝福

- 会員誕生記念 阿部憲道会員、小野志伸会員
 相馬功児会員
- 夫人誕生記念 瓜 俊雄会員、山田 大会員
 山内勝人会員、山下克己会員

- 創業記念 千葉 清会員、近藤俊継会員
 佐藤洋一会員
- 結婚記念 小野志伸会員、佐藤文優会員
 水島聖一会員

例会

会員卓話

プログラム委員会担当

テーマ「インフラ老朽化について」

委員長 大橋 俊彦



インフラは大きく3つに分けられます。

ライフラインインフラは上下水道、電気、ガス、通信など、市民の生活に不可欠な基盤。

産業インフラは道路、橋梁、トンネル、鉄道、港湾、空港など、物流や産業活動を直接支える基盤。

経済インフラ～学校、病院、庁舎、文化施設など、社会活動や地域経済を維持する公共的施設。

社会インフラの現状と将来予想として、日本では1950～60年代の高度経済成長期に集中的に整備された社会インフラが、築後50年以上を経過して急速に老朽化しています。国土交通省(2023年公表)によれば、道路橋の37%、トンネ

ルの25%がすでに築後50年を超えており、2040年にはそれぞれ75%、52%に達する見込みです。

上下水道管路は現時点で1割前後ですが、20年後には3~4割に拡大すると予測されています。日本各地で起きたインフラ老朽化による衝撃的な重大事故では埼玉県八潮市道路陥没(2025年) 県道交差点で大規模な道路陥没が発生しました。当初直径10メートルだった陥没は、約1週間で4倍の直径40メートルにまで拡大。通行中のトラック1台が転落する重大な事故となりました。和歌山県和歌山市(2021年) 水管橋が約60メートルにわたって崩落し、市内約6万世帯が断水する事態となりました。

広島県坂町 砂防ダム決壊(2018年) 西日本を襲った記録的な豪雨により、広島県坂町の砂防ダムが決壊し10名以上の死者を出す惨事となりました。山梨県笹子トンネル(2012年) 天井板崩落事故は、日本のインフラ老朽化問題を象徴する重大な事故の1つです。約140メートルにわたって崩落したコンクリート製の天井板の下敷きとなり、9名が亡くなりました。

ライフラインインフラの課題として

- (1) 財源不足では特に地方自治体では更新投資を自力で賄えず、国の補助制度や交付金に依存せざるを得ないところも多く、今後は受益者負担や利用料制度、民間資金活用を含めた新たな財源確保策が不可欠です。
- (2) 人材不足は適切な維持管理を行うためには、人材確保が必要となりますが、現状の人材減少傾向に加えて、時間外労働の上限規制の適用を見据えて労働時間が縮減する影響等も勘案すると、2023年までに21万人の人材不足を埋める必要があるとされています。
- (3) 地域格差では大都市圏では予算と人材が集まりやすいが、過疎地では補修投資が後回しになり、撤去や廃止が増えています。
- (4) 社会的合意形成の難しさとしては、たとえ利用率が低下していても、撤去や統廃合には強い反発があります。

施設縮減・集約再編を伴う施策では、合意形成の手法整備が課題とされています。一方、合意形成のプロセスは時間と労力を要し、計画の遅れにもつながっています。地域住民への配慮をしつつも、効率的なインフラ維持のための取り組みが求められています。

こうしてみると日本の老朽化対策は、審議会の答申が示す「予防保全」「データ活用」「集約化」「民間活用」「レジリエンス強化」という方針は整理されていますが、財源・人材・地域格差・住民合意といった課題が未解決のままです。方向性は明確で制度設計も進んでいますが、実行力に乏しいというギャップに直面しています。

我々が住む地域も住居地域の集約化を進めていかなければ、生活に直結するライフラインインフラは維持できなくなるのは目に見えており、もう先送りはできない課題が山積しており早急に対策を講じなければ、当たり前の日常生活が困難になるのは明白です。

今一度、ライフラインの大切さを意識してもらえれば幸いです。

ご清聴ありがとうございました。

出席報告

委員長 福地真紀子

第2630回例会

※在籍数 40名 ※出席規定免除 1名

※本日出席基数 39名 ※本日欠席者数 8名

※本日出席率 82.05%

※本日欠席者 阿部憲道会員、永森直弘会員
小野志伸会員、相馬功児会員
佐藤文優会員、佐藤洋一会員
佐藤正一郎会員

ニコニコボックス

※卓話をさせていただき！ 大橋俊彦会員
※夫人誕生をいただき。 瓜 俊雄会員
※夫人誕生をいただき。 山田 大会員
※夫人誕生をいただき。 山内勝人会員
※夫人誕生をいただき。 山下克己会員
※創業記念をいただき。 近藤俊継会員

本日のニコニコBOX 12,000円 累計額 1,052,083円

☆は超高額、◎は高額、○は多額

※米山記念奨学会：目標 14,000円/人

本日 0円 累計 379,000円

※ロータリー財団：目標 230\$/人

本日 0\$ 累計 3,380\$

ガバナー月信

QRコード



本号担当：石家裕二 次号担当：石家裕二

事務局：NPO法人ゆう内 (TEL0125-54-3111)

会長 松原重俊 幹事 西川公平

欠席届は前日昼迄に永森直弘SAAまで (TEL52-2309・FAX74-6002)